

2023年7月実施

農業経理士[®] 称号認定試験

— 第4回 —

経営管理

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - 筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - 電卓（基準に適合したものに限り。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来す行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 試験時間は、1時間30分（90分）です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- この問題冊子には、問題25問まで掲載しており、1頁から15頁まで印刷しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
 - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 特定非営利活動法人 日本プロ農業総合支援機構

※“農業経理士[®]”は、一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会の登録商標です

問題1 以下のある農企業A社の財務諸表に基づいて、各問に答えなさい。

〔資料〕

1. A社貸借対照表（2023年3月31日）（単位：千円）

流動資産	現金預金	1,500	流動負債	買掛金	1,710
	売掛金	2,800		預り金	420
	棚卸資産	720		未払法人税等	150
	その他流動資産	120		短期借入金	4,200
	流動資産合計	5,140		流動負債合計	6,480
固定資産	建物・構築物	42,000	固定負債	長期借入金	16,800
	機械装置	12,000	純資産	固定負債	16,800
	工具器具備品	4,200		負債合計	23,280
	減価償却累計額	-21,600		出資金	24,000
	土地	8,000		繰越利益剰余金	2,460
	固定資産合計	44,600		純資産合計	26,460
	資産合計	49,740		負債純資産合計	49,740

2. A社損益計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）（単位：千円）

I 売上高		18,000
II 売上原価		8,100
売上総利益		<u>9,900</u>
III 販売費および一般管理費		
役員報酬	520	
給料手当	4,000	
福利厚生費	320	
水道光熱費	820	
租税公課	420	
消耗品費	20	
減価償却費	3,200	9,300
営業利益		<u>600</u>
IV 営業外収益		
受取利息		890
V 営業外費用		
支払利息		420
経常利益		<u>1,070</u>
法人税等（30%）		321
当期純利益		<u><u>749</u></u>

問1 総資本経常利益率は（ 1 ）%である。（なお，%以下第3位を四捨五入し，%以下第2位までを算定する。）

[1の選択肢]

1. 1.21

2. 1.51

3. 2.15

4. 4.04

5. 19.90

問2 売上高経常利益率は（ 2 ）%である。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[2の選択肢]

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 1.21 | 2. 1.51 | 3. 3.33 |
| 4. 4.16 | 5. 5.94 | |

問3 総資本回転率は（ 3 ）回転である。（なお、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを算定する。）

[3の選択肢]

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 0.36 | 2. 0.40 | 3. 0.42 |
| 4. 2.47 | 5. 2.76 | |

問4 固定資産回転率は（ 4 ）回転である。（なお、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを算定する。）

[4の選択肢]

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 0.36 | 2. 0.40 | 3. 0.42 |
| 4. 2.47 | 5. 2.76 | |

問5 流動比率は（ 5 ）%である。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[5の選択肢]

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 36.11 | 2. 66.36 | 3. 68.21 |
| 4. 79.32 | 5. 103.10 | |

問6 固定長期適合率は（ 6 ）%である。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[6の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 79.32 | 2. 89.67 | 3. 103.10 |
| 4. 168.56 | 5. 265.48 | |

問7 自己資本比率は（ 7 ）%である。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[7の選択肢]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 13.03 | 2. 46.80 | 3. 48.25 |
| 4. 53.20 | 5. 86.97 | |

問題2 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は8とする。

- ア. 貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするものであり、財政状態は企業が運用する資金の調達源泉と資金の運用形態をいう。資金の調達源泉は資産により、資金の運用形態は負債及び純資産により明らかにされる。
- イ. 貸借対照表の資産および負債の項目の配列は、原則として流動性配列法による。流動性配列法は、資産の部を流動資産、固定資産、繰延資産の順に、負債の部を流動負債、固定負債の順に配列するものである。
- ウ. 正常営業循環基準とは、期末の翌日から起算して1年以内に入金または支払いの期限が到来するものを流動資産または流動負債とし、1年を超えて入金または支払いの期限が到来するものを固定資産または固定負債とする基準である。
- エ. 損益計算書における売上総利益は、農畜産物の生産・販売活動の良否を示す。営業利益は、営業活動の成果を示しており、経常利益は企業の正常な収益力を示している。

[8の選択肢]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アウ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ | |

問題3 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は**9**とする。

- ア. 一般的に付加価値とは、その企業が原材料など外部から購入した生産諸要素に自らの手を加えて新たに生産した、あるいは付加した価値をいい、算定方法としては控除法と加算法が存在する。
- イ. 一般に国からの交付金等は付加価値に含めない。しかしながら、農業経営を分析する際は、価格補填収入や作付助成収入など一部の交付金について付加価値に含めることになる。
- ウ. 売上高のうち付加価値額が占める割合は、付加価値労働生産性と呼ばれる。従業員1人当たりが稼ぎ出した付加価値を表すものである。
- エ. 付加価値労働分配率は、企業が生み出した付加価値のうち人件費として従業員に分配された比率を表し、低ければ低いほど望ましい。

[9の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アウ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ

問題4 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は10とする。

- ア. 売上高借入金比率は、売上高に占める借入金の比率を表す指標であり、値が小さいほど、経営が不安定になる可能性が高くなる。
- イ. 限界利益とは、売上高から種苗費、肥料費、農薬費などの変動費を控除したあとの利益であり、限界利益が赤字であれば、直ちに生産をやめるべきであると判定できる。
- ウ. キャッシュ・フロー計算書において理想的なキャッシュ・フローのかたちは、営業キャッシュ・フローがマイナスであり、投資キャッシュ・フローと財務キャッシュ・フローがプラスのケースである。
- エ. 利益増減分析は、売上高や仕入高の増減の原因が単価の増減によるものなのか、数量の増減によるものなのかを明らかにする方法である。

[10の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アウ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ

問題5 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は11とする。

- ア. 収入保険は、品目の枠にとらわれずに農業経営全体をカバーすることを目的とするものであるが、牛マルキンなどの経営安定対策の対象品目である畜産品目を収入保険制度の対象品目から除外し、複合経営の場合に他の品目は収入保険制度に加入できる形となっている。
- イ. 加工品は収入保険の対象から除外されるが、自ら生産した農産物等を加工・販売し、所得税法上の農業所得として申告しているものは対象収入に含めることができる。
- ウ. 主たる経営品目の価格下落リスクについては、稲作の場合、収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）が存在し、セーフティーネットとしては十分である。
- エ. 収入保険においては、当年の収入が基準収入の9割水準（原則の補償限度額）を下回った場合に補償限度額を下回った額の9割（支払率）の補填金が支払われる。いかなる場合でも補償限度額は9割水準となる。

[11の選択肢]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アウ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ | |

問題6 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は12とする。

- ア. 損益分岐点分析は損益が均衡する売上高を算出するものであり、収支分岐点分析は収入と支出の額が均衡する売上高を探るものである。損益分岐点分析と収支分岐点分析を同時に行うことにより損益と資金の状況を一体的に把握できるようになる。
- イ. バランス・スコアカード（BSC）を農業経営に適用する場合には、「財務の視点」「顧客の視点」「社内ビジネスプロセスの視点」「学習と成長の視点」の4つの視点以外の農業独自の視点を創設することは主張されていない。
- ウ. ポーターのファイブフォースモデルにおいて、安価な牛肉が市場に投入されることによって豚肉の需要が奪われてしまうことは「新規参入の脅威」の例である。
- エ. シナジー効果を考慮することは、事業領域（ドメイン）の決定や資源展開の中で効果的かつ効率的に各事業分野が影響し合うように設計することである。

[12の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アウ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ

問題7 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は13とする。

- ア. 収量減少リスクに対するリスクファイナンスとして、農業共済（NOSAI制度）への加入がある。耕種農業においては、地震を含めたすべての自然災害が対象となっているほか、病虫害、鳥獣害や火災も補償の対象となる。また、家畜については死亡・廃用のほか、病気・けがなどの治療費も対象となる。これらの対象品目は限定されず、農業経営全体をカバーするものである。
- イ. 収量減少リスクに対するリスクファイナンスとして、農業版天候デリバティブがある。これは、天候の影響による農業収益の減少や支出の増大に備える金融商品であり、気温、降水量、最大風速など収益・支出に関わる一定の指標を定め、期間中の指標が一定の条件を満たし、実際の損害が発生した場合には所定の金額が支払われるものである。
- ウ. 価格低下リスクに対するリスクファイナンスとして、国が実施する作目別の価格安定制度に加入することがある。畜産農業においては、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）制度、肉豚経営安定交付金（豚マルキン）制度、肉用子牛生産者補給金制度、鶏卵生産者経営安定対策が挙げられる。これらの制度は、販売価格と生産コストの差を補填する仕組みであり、販売価格の低下だけではなく生産コストの増加についても補填される。
- エ. 価格低下リスクに対するリスクファイナンスとして、国が実施する米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）制度に加入する方法がある。この制度は、米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に補填する仕組みである。

[13の選択肢]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アウ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ | |

問題8 当農業法人は売上計画を作成している。以下の売上計画表の空欄に入る金額を選びなさい。

〔資料〕

1. 売上計画表

作目	項目	×1年度	×2年度	×3年度	×4年度	×5年度
稲作	収量 (kg/10a)	500	?	?	?	?
	面積 (ha)	20	?	?	?	?
	生産量 (kg)	100,000	?	?	?	?
	販売単価 (円/kg)	?	?	?	?	?
	売上高 (千円)	(14)	?	?	?	?
野菜α	収量 (kg/10a)	?	?	?	?	?
	面積 (ha)	?	?	?	?	?
	生産量 (kg)	?	?	?	?	?
	販売単価 (円/kg)	?	?	?	?	?
	売上高 (千円)	(15)	?	?	?	?
合計	売上高 (千円)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

2. 売上計画表作成のための資料

(1) 稲作売上計画作成のための資料

- ①10a 当たりの収量を増やすよりも品質向上を優先して、10a 当たり収量は現状のまま面積は×2年度から1ha ずつ拡大していく。
- ②販売単価の上昇は見込めないものの、品質向上と販売努力で最低限の現状価格 (160 円/kg) を維持することを目指す。

(2) 野菜α 売上計画作成のための資料

- ①農林水産省や都道府県の統計をもとに予算を組んでいる。
- ②0.5ha のハウス4棟での試験的な栽培開始、年3回転を目標 (面積0.5ha×4×3=6ha) とする。初年度から収量は見込めないため、初年度は理論値 (600 kg/10a) の50%、×2年度は70%、×3年度は80%と想定する。×4年度、×5年度は理論値通りを予定する。
- ③販売単価は1kg当たり95円で変化しないものとする。

[14 の選択肢]

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 1,600 | 2. 10,000 | 3. 16,000 |
| 4. 16,800 | 5. 160,000 | |

[15 の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1,710 | 2. 2,394 | 3. 2,736 |
| 4. 17,100 | 5. 17,710 | |

[16 の選択肢]

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 17,100 | 2. 17,710 | 3. 19,194 |
| 4. 33,710 | 5. 177,100 | |

[17 の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16,000 | 2. 17,710 | 3. 19,194 |
| 4. 20,336 | 5. 40,740 | |

[18 の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16,800 | 2. 17,600 | 3. 17,710 |
| 4. 19,194 | 5. 20,336 | |

[19 の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5,260 | 2. 18,400 | 3. 21,820 |
| 4. 22,620 | 5. 52,600 | |

[20 の選択肢]

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 17,710 | 2. 19,194 | 3. 20,336 |
| 4. 21,820 | 5. 22,620 | |

問題9 当農業法人は簡便な資金繰表を作成している。以下の〔資料〕に基づいて、空欄（ 21 ）～（ 23 ）に入る正しい金額を選びなさい。

〔資料〕

1. 簡易資金繰表（単位：千円）

	×1年度	×2年度	×3年度
税引前当期純利益	600	2,200	820
減価償却費	(?)	(?)	(?)
法人税等の支払額（前期の税金）	240	(?)	(?)
消費税等の支払額	620	620	620
固定資産の取得	(?)	—	—
借入金による資金調達	(?)	—	—
借入金の返済	(?)	(?)	(?)
支払利息	(?)	(?)	(?)
期首現預金残高（＝前期末現預金残高）	3,000	(?)	(?)
当期現預金増減	(?)	(?)	(?)
期末現預金残高	(21)	(22)	(23)

2. 簡易資金繰表作成のための資料

- (1) 固定資産 15,000 千円の取得の為に、金融機関から×1年度期首に 15,000 千円を借入れる。
- (2) 新規固定資産の取得原価は、15,000 千円である。新規固定資産は×1年度期首に取得し、×1年度より減価償却を開始する。耐用年数 10 年、残存価額ゼロ、定額法で計算する。その他に旧設備の減価償却費が 4,500 千円毎期発生する。
- (3) 借入金 15,000 千円は 3 年間で均等返済する。支払利息は、期首残高に対し年利 2% で支払うこととする。
- (4) 期首・期末の棚卸資産は毎期ゼロと仮定する。
- (5) 売掛債権、仕入債務等その他の情報については便宜的に考慮外とする。
- (6) 法人税等の額は、前期税引前当期純利益の 30% を計上するものとする。

[21 の選択肢]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1,060 | 2. 2,200 | 3. 3,440 |
| 4. 5,640 | 5. 6,080 | |

[22 の選択肢]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1,060 | 2. 2,200 | 3. 3,440 |
| 4. 5,640 | 5. 6,080 | |

[23 の選択肢]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1,060 | 2. 2,200 | 3. 3,440 |
| 4. 5,640 | 5. 6,080 | |

問題10 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は24とする。

- ア. 市町村による農業経営改善計画の認定を受けるためには、①計画が関係市町村基本構想に照らして適切であること、②計画が農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切なものであること、③計画の達成される見込みが確実であること、のいずれかを満たしていることが必要である。
- イ. 6次産業化にあたり日本政策金融公庫の制度融資としてスーパーW資金がある。これは、あらゆる農業経営者が利用できる融資制度である。
- ウ. 6次産業化成功のためには、新たに進出する2次産業ないし3次産業が単体の事業として成り立つものであることが最大のポイントである。
- エ. 6次産業化で全く新しい事業に進出する場合には、その事業の中心となるキーパーソンが必要であり、当該事業を独立で経営できる高度な業務遂行能力を有している必要がある。

[24の選択肢]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アウ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ | |

問題11 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は25とする。

- ア. 農業近代化資金は、建物、構築物、農機具等の取得や改良、果樹等植栽育成、家畜購入育成、小規模な土地改良、経営規模拡大や経営管理の合理化等の長期運転資金など用途が幅広く、民間金融機関が融資する最も一般的な長期資金である。
- イ. 日本政策金融公庫が実施する融資は、スーパーL資金（農業経営基盤強化資金）、農業改良資金、経営体育成強化資金、青年等就農資金などがある。
- ウ. 日本政策金融公庫の融資制度である青年等就農資金は、認定新規就農者を対象とした制度であるが、国の補助金を財源に含む補助事業や地方公共団体の単独補助事業や融資残補助事業（経営体育成支援事業）は対象とならない。
- エ. リースにより設備投資を行うケースは、担保が不要であり担保余力を温存することができる。また、一般的に金融機関から融資を受けるよりも金利が低くなるが多いため、コストを抑制することができる。

[25の選択肢]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アウ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ | |

